

# 東京湾海況情報 20-08

東京湾水質調査結果（平成20年11月分）

平成20年11月14日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp)

千葉県農林水産技術会議

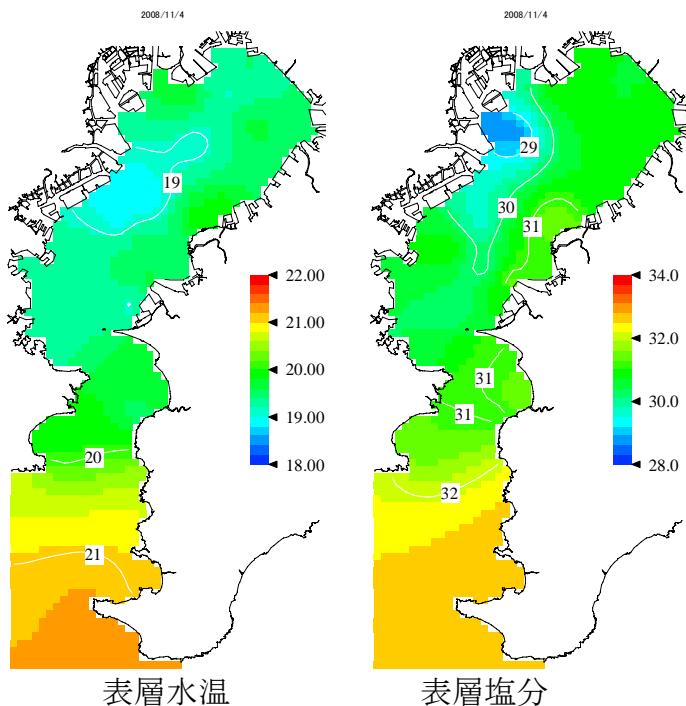
資料：東京湾水質調査(内湾:11/4(わかふさ)、内房:11/4(ふさみ丸))  
データ提供：東京海洋大学(新富津水温ブイ)・(独)国立環境研究所  
資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

## 水温・塩分(図1～3、表1)

水温は、表層で19～21℃台と先月から1～2℃低下しましたが、内湾から内房北部では、平年よりやや高め湾口部ではやや低めとなっていました。底層で、19～20℃台と先月から0～2℃低下していました。

塩分は、表層で東京側のごく低塩分は解消されましたが29～30と平年より低め、底層では32～33と先月よりやや低めとなっていました。

鉛直分布は、水温塩分ともに上下の差が縮小しており、水塊の混合が進んだ模様です。



表層水温

表層塩分

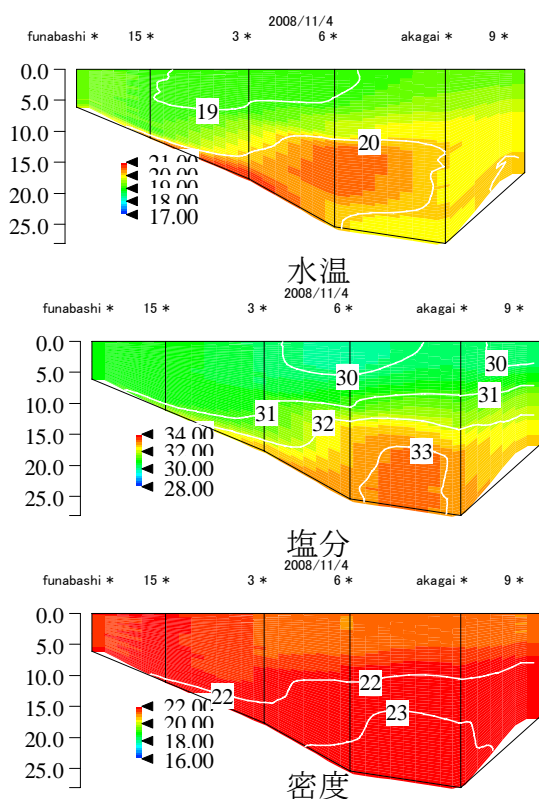
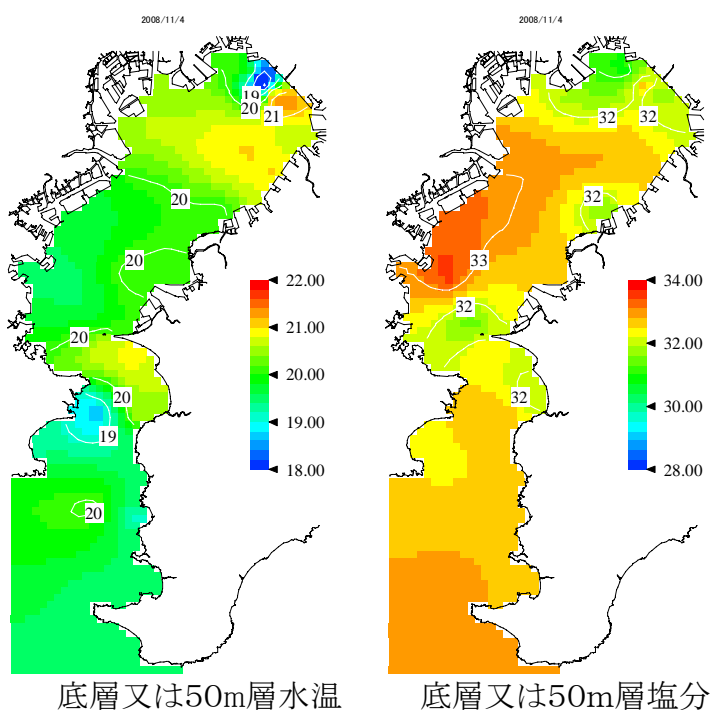


図2 内湾の鉛直分布



底層又は50m層水温

底層又は50m層塩分

図1 東京湾の水温・塩分分布

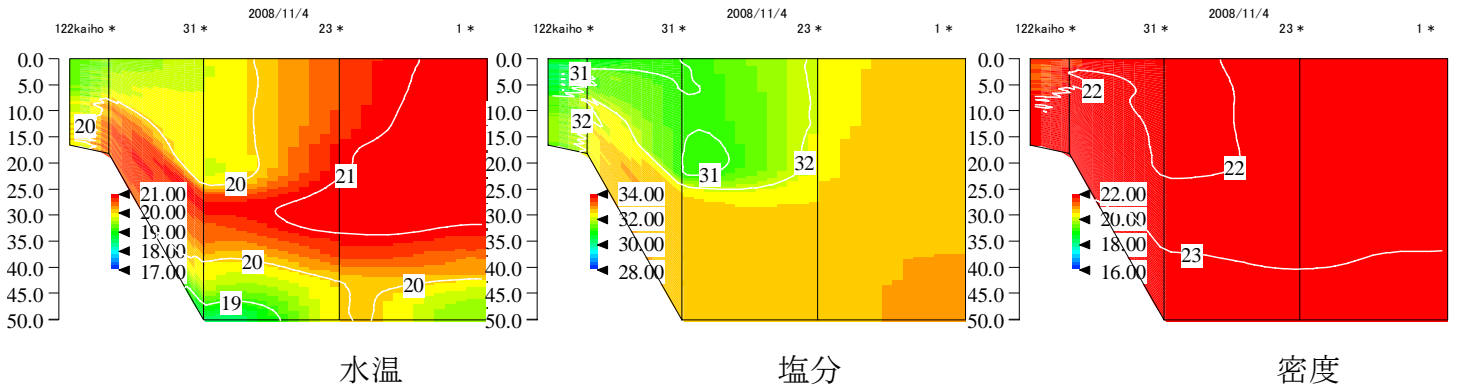


図3 内房の鉛直分布

### 赤潮の状況(図4、表1)

赤潮は全域で見られず、内湾北部でも透明度が4m以上を示していました。

プランクトンは、全体に少なく、珪藻のニッチア (*Nitzschia* sp.) が優占が優占していました。内湾中央から北部では、コスキノディスクス (*Coscinodiscus* sp.)、タラシオシーラ (*Thalassiosira* sp.) も見られました。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、センサー値ですが内湾で10  $\mu$ g/l 前後でした。

千葉県赤潮の目安は以下のとおりです。  
 色: オリーブ~褐色、酸素飽和度: 150%以上、透明度: 1.5m以下、  
 pH: 8.5以上、クロロフィルa量: 50  $\mu$ g/l

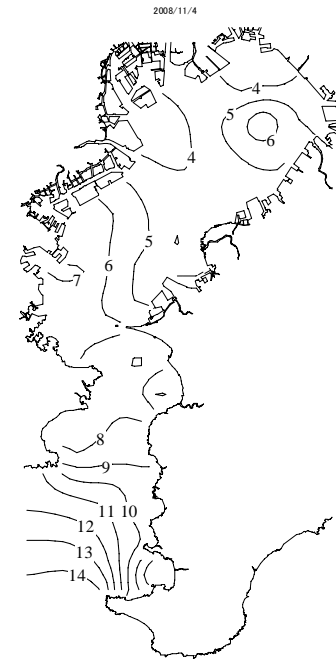


図4 透明度の分布(m)

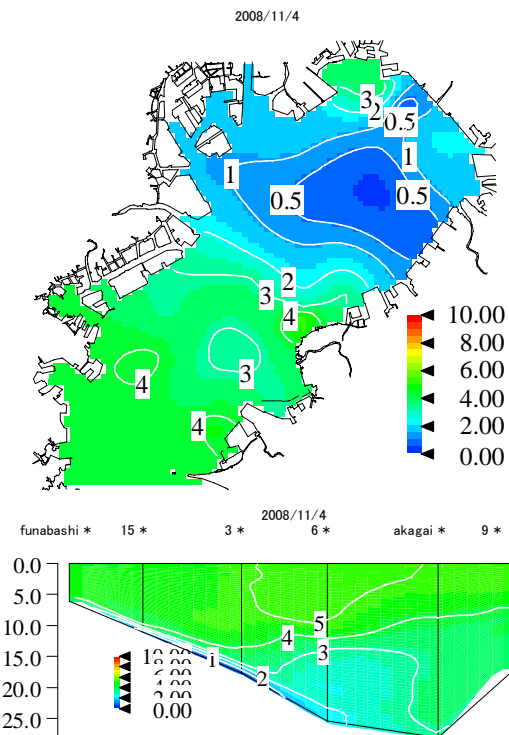


図5 内湾のDO (ml/l)  
 (上: 底層分布、下: 鉛直分布)

### 貧酸素水塊の状況(図5、表1)

底層の貧酸素水塊は、内湾北部の広い範囲に分布していましたが、鉛直的な厚みは薄くごく底層のみの分布でした。全体では縮小していますが、解消の進展は例年より遅くなっています。

千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量 2.5ml/l (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

**栄養塩類(図6、表1)**

表層の栄養塩類は、先月低かった千葉県側で大幅な回復が見られ、平年よりは低めですがDINで200 $\mu\text{g/l}$ 以上、PO4Pで17 $\mu\text{g/l}$ 以上とのりの生育には十分な値を示していました。

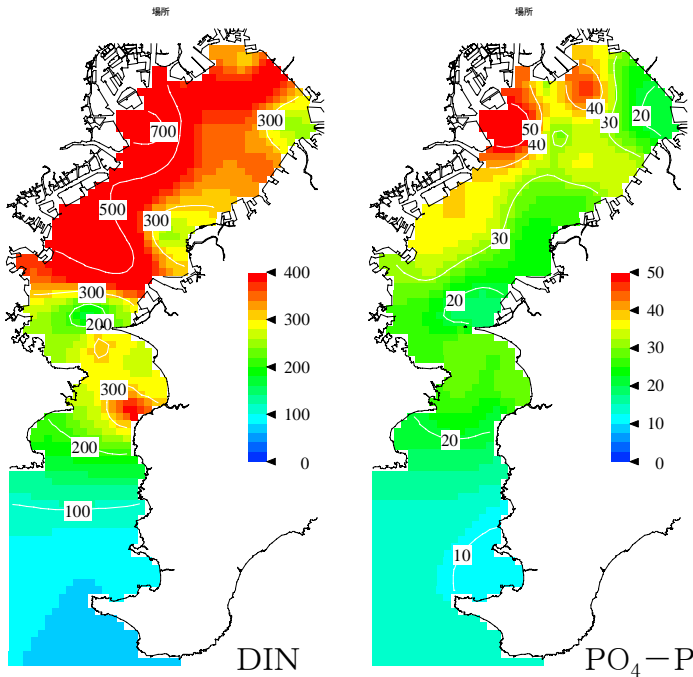


図6 表層の栄養塩分布( $\mu\text{g/l}$ )

**黒潮の動き(図7)**

黒潮は、C型流路で、遠州灘沖を南東方向に流れて、31度30分付近を経て勝浦沖で接岸し東に流去しています。

いまのところ沖合水の波及はない模様です。

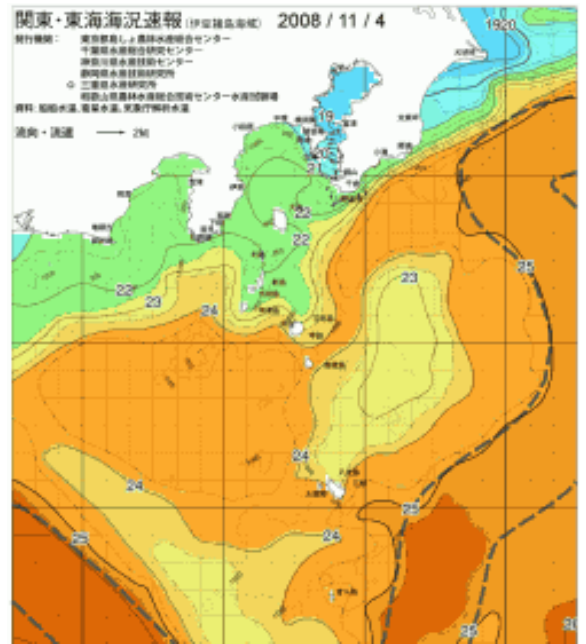


図7 黒潮の動き(11月4日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成20年11月4日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO ( $\text{ml/L}$ )	溶存無機 態窒素 ( $\mu\text{g/L}$ )	リン酸 態リン ( $\mu\text{g/L}$ )	アンモニア 態窒素 ( $\mu\text{g/L}$ )	クロロフィル a量 ( $\mu\text{g/L}$ )
内湾	船橋	3.5 (3.2)	19.3 (18.8)	30.61 (31.00)	8.2 (8.10)	3.4 (3.2)	301 (465)	31 (68)	16 (106)
	st.15	4.0 (4.0)	19.0 (18.6)	30.72 (30.17)	8.17 (8.20)	1.1 (2.3)	405 (521)	47 (44)	52 (72)
	st.3	4.5 (4.9)	18.9 (18.4)	30.10 (29.96)	8.26 (8.20)	0.3 (2.3)	387 (537)	29 (35)	23 (58)
	st.6	4.0 (5.5)	19.0 (18.5)	29.78 (30.60)	8.27 (8.20)	1.8 (3.0)	484 (453)	33 (34)	28 (48)
	st.9	5.0 (6.4)	19.3 (18.7)	29.90 (30.69)	8.25 (8.20)	3.2 (3.4)	597 (395)	28 (35)	23 (65)
	盤洲Cブイ	4.3 (5.0)	19.8 (19.7)	30.78 (31.39)	8.23 (8.20)	3.0 (3.2)	304 (399)	26 (37)	12 (47)
	st.8 (盤洲Aブイ)	5.0 (5.6)	19.3 (19.0)	30.98 (31.33)	8.21 (8.10)	3.1 (4.2)	249 (395)	22 (35)	9 (47)
	富津ベタ	7.0 (5.7)	19.2 (19.0)	30.49 (31.33)	8.57 (8.10)	4.0 (4.2)	271 (400)	17 (30)	16 (38)
内湾域	第2海ほ下	7.0 (6.2)	19.3 (19.2)	30.53 (32.28)	8.17 (8.20)		299 (279)	27 (26)	12 (32)
	st.31		19.6 (19.4)	30.96 (32.34)	8.20 (8.20)		275 (276)	26 (25)	15 (33)
	st.23	10.5 (14.8)	20.6 (21.1)	32.21 (33.92)	8.23 (8.30)		112 (92)	13 (10)	4 (16)
	st.1	13.5 (15.6)	21.2 (21.4)	32.67 (34.07)	8.19 (8.20)		61 (63)	10 (7)	4 (19)
	st.10 (下洲沖)	8.0 (7.4)	19.5 (19.4)	31.00 (32.61)	8.17 (8.20)		267 (222)	26 (21)	13 (26)
	st.12 (湊沖)	6.0 (6.7)	19.6 (19.4)	31.25 (32.84)	8.17 (8.20)		301 (232)	27 (22)	12 (28)
	st.22 (保田沖)	9.0 (12.8)	20.4 (21.0)	32.10 (33.91)	8.21 (8.20)		159 (71)	15 (8)	7 (15)
	st.24 (富浦沖)	9.0 (14.4)	20.7 (21.2)	32.49 (34.01)	7.89 (8.20)		94 (71)	10 (8)	4 (15)
st.26 (館山湾内)	7.5 (13.8)	21.0 (21.3)	32.73 (34.04)	8.25 (8.30)		68 (61)	8 (8)	8 (16)	

( ):過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)

\*透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。なお、今月のクロロフィルa量は、センサー値で示しています。